

地域のデジタル・アーカイブで 読み解く『平家物語』

『平家物語』 八の巻「太宰府落」における平家の足跡

そして...

「筑前国絵図 御笠郡」



「同 那珂郡」



「同 糟屋郡」



「同 宗像郡」

And then ... ?

福岡県立図書館デジタルライブラリ「筑前国郡絵図」より <https://adeac.jp/fukuoka-pref-lib/top/topg/theme/kinsei/chikuzen.html>

案：福岡県立小郡高校 学校司書 青木三保

(そもそも) 「太宰府落」とは...?

都から太宰府に
逃げるのか？
(落ち延びる)

太宰府からどこかに
逃げるのか？
(どこに?)

コトバンク「落」『精選版 日本国語大辞典』中に「④(名刺の下に付いて造語要素的に用いる)ある場所からひそかに逃げて行くこと。「平家-七」の「一門都落」「福原落」など。」とある。

https://kotobank.jp/word/%E8%90%BD-655830#goog_rewarded

よって、「太宰府落」とは「太宰府からひそかに逃げて行くこと。」である。

§使用するテキスト

『平家物語 3』 古川日出男／訳
河出書房新社 2023.12

p.33～ p.41

「太宰府落 (だざいふおち) - さすらう平家

昔は昔、今は今。

じきにそんな声がある。

だが平家も、今は、とりあえず今はと求められていた。今は都を定めて、内裏を造ることにしようと決定したのだが、・・・(後略)」

どこに都を定めるのか？太宰府？なぜ？

平家と太宰府の関係について

太宰府市発行『太宰府人物志』中に、65「平氏と大宰府」という章がある。内容はPDFで公開されている。

<https://www.city.dazaifu.lg.jp/soshiki/3/1920.html>

「（前略）...さて、その後、清盛およびその弟頼盛（よりもり）は、「大宰大貳（だざいのだいに）」という官職に就任しています。特に頼盛が大貳として大宰府現地まで赴任してきたことは、非常に重要です。当時の地方官は、遙任（ようにん）といって、任命されても現地に赴任しないことが一般的でした。...（中略）...この頼盛の大宰府下向は、大宰府現地を掌握することで、日宋貿易を有利に進めようとしたものと理解されています。...（中略）...このように、平氏と大宰府とは非常に深く関係していましたので、...（後略）」

- ・「平氏」と「平家」の違い
- ・「大宰府」と「太宰府」の違い

本やインターネット検索で調べる。

『眠れないほどおもしろい平家物語』
板野博行／著 三笠書房 2021.7

『太宰府・宝満・沖ノ島』
伊藤まさこ／著 不知火書房 2014.8

太宰府については、まず太宰府市のHPから調べる。

※インターネットで検索する場合は、信頼性の高いサイト（自治体、公共施設等）を選ぶこと。

太宰府での平家の人々

テキストとして使用する『平家物語 3』（スライド2参照）中に、下記の記述がある。

p.18~p.19 (p.9~p.17「山門御幸 一都、源氏で満ちる」中)

「(前略) … その平家は、**時忠卿**もおられる一門は、おられるとはいえ、さていずこか。福原落ちの後(のち)、この今はいずこか。…

(中略) … 平家は筑前の国の三笠の郡(こおり)、太宰府にお着きになった。…

(中略) … 平家は安楽寺に詣でる。菅原道真公の墓所に建立された太宰府の寺院に。神仏への奉仕として歌を詠み、連歌をした。**本三位中将重衡卿**はここで次の一首を詠まれた。

すみなれし ふるき都の 恋しさは 神もむかしに 思ひ知るらん (脚注省略)

人々はこれを聞いて全員涙した。

太宰府という鄙(ひな)にいて、平家一門の人々が。… (後略)」

赤字の部分は、平家の人名。左の本も調べるのに役立ちます。

『わたしたちが描いたアニメーション「平家物語」』
高野文子×山田尚子／著
河出書房新社 2022.3

『イケメン☆平家物語』
山下景子／著
PHP研究所 2011.12

太字の部分「神」は誰を、「むかし」は何を指しているのか？

菅原道真のお墓に建立された寺院。今は何と呼ばれているか？

「筑前国郡絵図」 御笠郡で見る太宰府（安楽寺）



「御笠郡」全体の中から、安楽寺を探す。→拡大して見る。
Googleマップ等現代の地図と比較して、地名や地形の変化等も確認する。当時の太宰府はどんな場所だったか。
平家の人々はどんな境遇にあったのか。



◎太宰府と平家の関係について、太宰府天満宮公式がSNSにポスト。
<https://x.com/dazaifutenmangu/status/1158924473870872576>

平家の人物「平重盛」を紹介した本で調べる。どんな立場であったか？

◎安楽寺（現在の太宰府天満宮）については、九州国立博物館の下記ページにも詳しく述べられている。
九州国立博物館「西都太宰府」>「太宰府天満宮本殿」
<https://www.kyuhaku.jp/dazaifu/d-map/kaisetu36.html>

スライド2「今は都を定めて、内裏を造ることにしよう…」

⇒ 平家は太宰府を都とするつもりであったと推察される。

平家、太宰府落へ

テキスト『平家物語 3』から、太宰府遷都を断念し逃げざるを得なかった平家の姿を読みとる。

p.36~p.37 (p.33~p.41「太宰府 ーさすらう平家中」)

「(前略) … そして平家は。(改行) 平家は。(改行) 緒方三郎維義が三万余騎の軍勢で、今、まさに押し寄せると聞いたので、太宰府を落ちられた。…

(中略) … 太宰府落ちだ。あれほど頼みにしていた天満天神のご神前を離れ、…

(中略) … はだしで、徒歩で、我さきにと、急ぐ、急ぐ。箱崎の津へと落ちていかれる。…

(中略) … 移る、移る、移動される。住吉から筥崎、香椎、宗像と社々を伏し拝み、… (後略)」

「住吉から筥崎、香椎、宗像と社々を伏し拝み」の住吉、筥崎、香椎、宗像の「社々」は現在のどこか。前に出ている「箱崎」と「筥崎」はどう違うのか。

太宰府から「箱崎の津」へと平家は落ちていった。

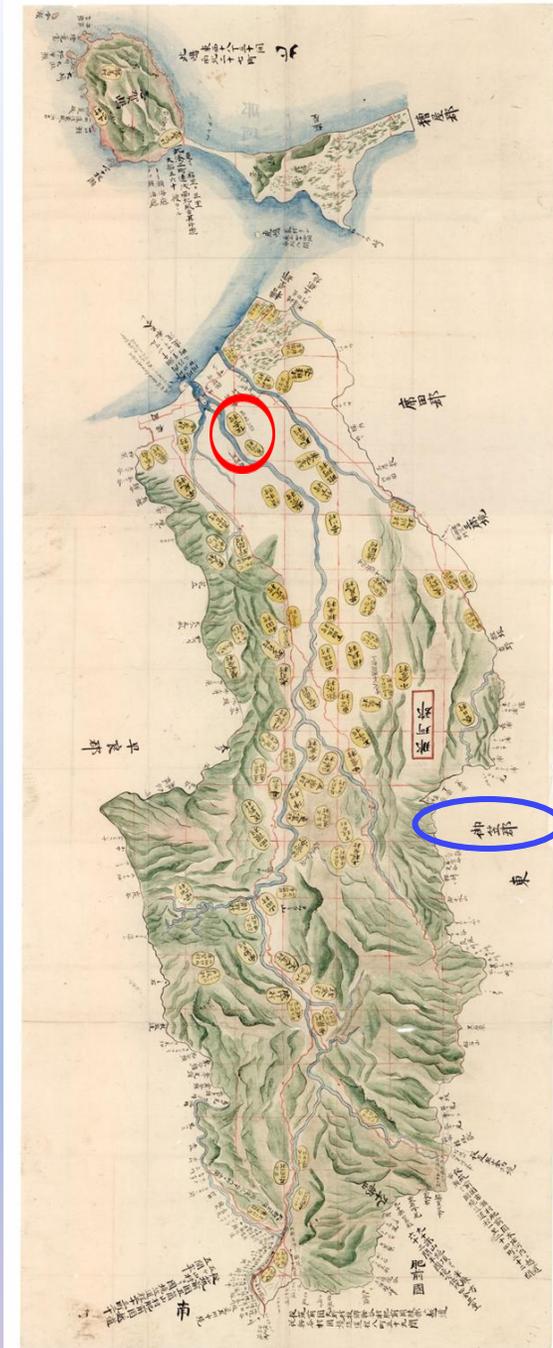
「箱崎の津」とは何処か。「津」とは何か。平家はなぜ「箱崎の津」を目指したのか。

※「津」は辞書で調べること。

★地名について調べるならコレ！ 県別に発行されている。公共図書館や学校図書館にあるので、積極的に活用する。

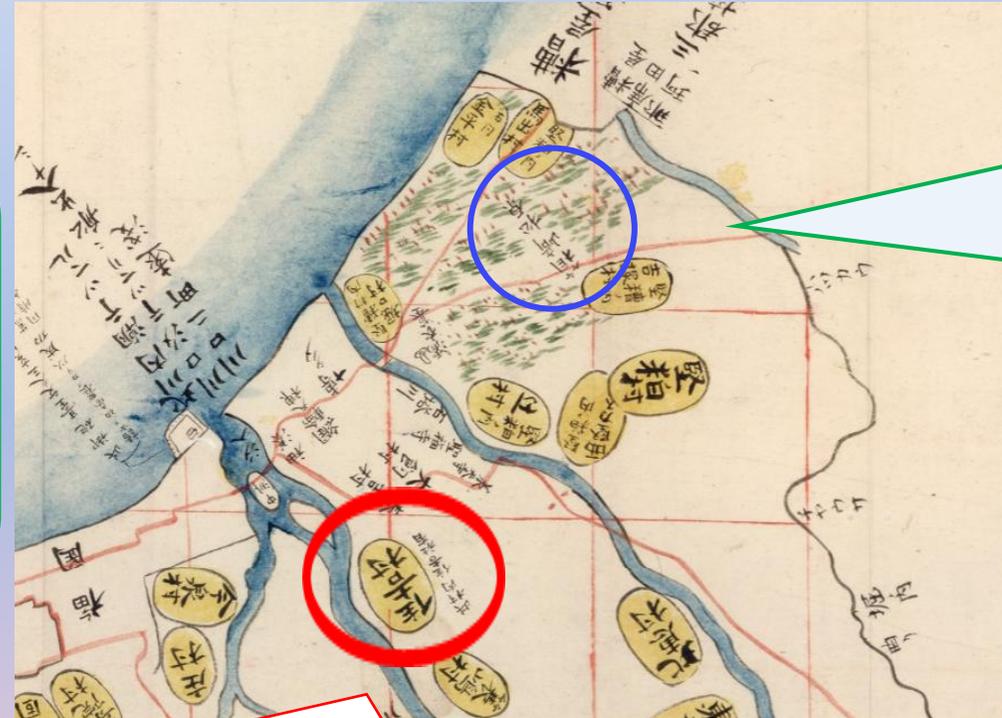
『角川日本地名大辞典 40福岡県』

「筑前国郡絵図」で平家の 太宰府落をたどる (1) (太宰府～住吉～筥崎～香椎～宗像)



「筑前国郡絵図」で太宰府を調べた「御笠郡」の文字がある。平家がこの方向（東）から住吉に向かったと考えられる。

- ★Googleマップ等現在の地図との比較
- ・距離や地形
- ・徒歩での移動時間

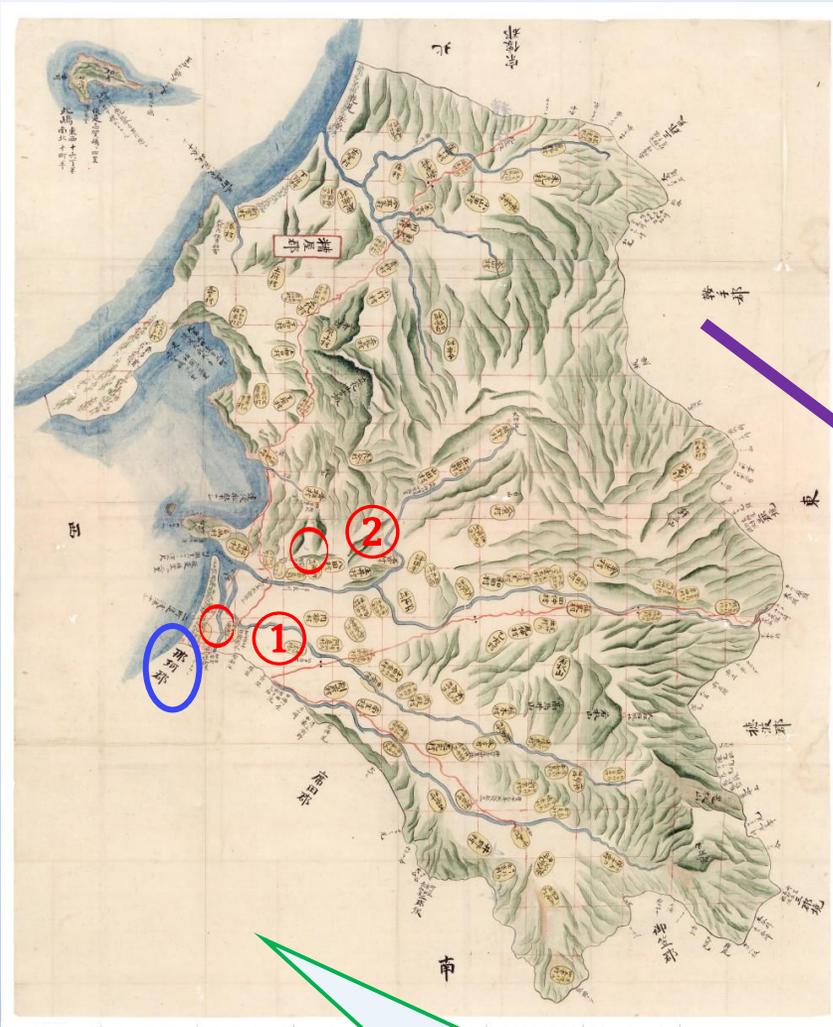


住吉村の表記。「此村内住吉社有」の記述。

「箱崎松原」の文字がある。次に向かった「筥崎」の社も近い。絵図上部には「糟屋郡」の文字が見える。現在の糟屋郡との違いは？

- ★現在の市町村境界との比較。

「筑前国郡絵図」で平家の 太宰府落をたどる (2) -1 (太宰府～住吉～**筥崎**～香椎～宗像)



太宰府から「箱崎の津」へ落ちた平家。しかし、筥崎の社が接する海は「二町遠浅湊ナシ（にちょうとおあさみなとなし）」とある。「箱崎の津」は何処にあったのか。平家が「箱崎の津」を目指した理由は？（スライド6から再掲）

【参考】「ジャパンナレッジ」から『日本歴史地名体系』>「箱崎」のサンプル。
<https://japanknowledge.com/introduction/keyword.html?i=1603>

- ・「箱崎の津」は海岸沿いではなかった。
- ・日宋貿易をめぐる筥崎宮と太宰府の軋轢。
→スライド3「平家と太宰府と関係」を参照。平家が「箱崎の津」（筥崎の社）を目指したのは、日宋貿易が関係しているのか。

- ★Googleマップ等
現在の地図との比較
- ・海岸線のちがい
 - ・距離や地形
 - ・徒歩での移動時間

住吉の社を調べた「那珂郡」の文字が見える。「箱崎松原」を過ぎると箱（筥）崎か。

八幡宮の表記。海から続く参道。現在との比較。